

「いざ」という時のために

ー防災訓練における小中学校の取り組みー

6月12日(日)の「塩竈市総合防災訓練」では、小中学校も全校児童生徒が登校し、防災訓練や避難所開設訓練を行いました。

各学校は市の指定避難所になっており、当日は、地域住民の避難先として、さまざまな取り組みを行ったほか、学校ごとに、右記の特色あるプログラムを実施し、児童生徒の防災意識の向上を図りました。

震災を経験した私たちが最も大事にしなければならないこと、それは「忘れないこと」です。震災を風化させず、いざという時に備えるために日ごろの学習や訓練に真剣に取り組むことが大切です。

問 学校教育課学校教育係 ☎365-3216

学校	プログラム内容
一小	濃煙体験・特殊車両見学、炊き出し訓練見学 倒壊家屋救助訓練見学
二小	防災グッズづくりや防災倉庫見学 気象台ゲストティーチャーによる授業
三小	第三中学校への第二次避難
月小	震災の語部を招いて防災教育全校集会
浦戸	登校時の津波対応避難訓練
杉小	身近な物を使ったマスク・スリッパ・担架づくり
玉小	身近な物を使ったマスク・スリッパ・担架づくり
一中	ハザードマップを活用したフィールドワーク や防災グッズの製作
二中	認知症サポーター認定講習会、救命救急訓練
三中	全校生徒対象の防災教室
玉中	救命救急訓練や給水活動訓練



(写真左)自衛隊員から炊き出しの説明を受ける子どもたち(一小)

(写真右)避難所開設訓練。プライベートルームに実際に入ってみる生徒たち(玉中)

市内で活動しているダンベルサークル・脳げんき教室の紹介!

第1弾

市では、地域でのサロン活動や役割と生きがいの持てる通いの場づくりを応援しています。地域での活動・通いの場が、きずなや支え合いの地域力を強くしてくれます。現在、市内では50を超えるサークル・教室があり、さまざまな活動を行っています。そんな素敵なサークル・教室の活動をご紹介します。

清水沢中部アカシア会

ダンベル体操とレクダンスで歌と踊りを楽しみながら、転倒予防のバランス感覚をつけるように心がけています。また、詩吟や論語の群読では、腹式呼吸を学びながら大きな声を出し、ストレス解消に努めています。運動後のティータイムも盛り上がり、心身ともに爽やかにになれる会です。年に2回行う野外研修もみんな楽しみにしています。

活動日時 第1、3(水) 10:00~12:00

活動場所 塩釜ガス体育館研修室 **参加人数** 12~13人

ある日の活動・・・

- 10:00 あいさつ
近況報告
- 10:15 歌を歌う、群読
- 10:30 ストレッチ、ラジオ体操
ロコモ体操、レクダンス
- 11:00 ティータイム
- 12:00 終了



清水沢地区(東工区)災害公営住宅の入居式でレクダンスによる交流を行いました。また、災害公営住宅の集会室でカフェ開催中です

清水沢中部アカシア会代表 今野紀美子さんより一言

会も高齢化してきて、サークルの準備など大変なときでも「大丈夫、みんなで代わりばんこに手伝うから」と明るく言ってお互いを励まし合っています。自助・公助・共助が大切。さらに「近助」という近所の助けがあれば、安心して暮らせるのではないのでしょうか。

問 長寿社会課地域支援係 ☎364-1204